

- 1 朝起きて照る日曇る日世のならい 越前市 宇野勝己
- 2 朝厨（くりや）つい口ずさむ恩徳讃 越前市 土本小夜子
- 3 朝な夕なひとりじやないよと弥陀の声 福井市 菅野幸恵
- 4 預かりしこの我がいのち寒鼻（すばる） 八千代市 藤枝昌文
- 5 あみださまいつもみんなをみているよ 王子日校 前田千咲
- 6 あみださまいつも空からほほえんで 王子日校 長田佳歩
- 7 ありがたき曾孫八人米の餅 越前市 宇野はな江
- 8 「生かされている」と気付きぬ冬銀河 八千代市 藤枝昌文
- 9 生かされて仏に護られ今日の日も 越前市 永田ハツエ
- 10 一抹の疑ふころ月凍る 八千代市 藤枝昌文
- 11 永代経庭の千草も招きけり 越前市 万所 幸子
- 12 NとSひきつけあつて法友（とも）の縁 越前市 田中明浩
- 13 えんそくでこんにやくつくつてたのしいな 王子日校 中山国虎
- 14 老いの日々ただひたすらに南無阿弥陀 越前市 高中遊子
- 15 老い ボケ 死 ぜんぶ仏のみ手の中 越前市 玉村早苗
- 16 撮（おき）めとる弥陀のみ声や堂冷ゆる 能美郡 藤原千佳子
- 17 お浄土に生まれ往く道南無阿弥陀仏 町田市 北嶋公代
- 18 お供えの菊香る仏間で経をよむ 越前市 伊藤まさの
- 19 おちこちの定聚や集う和讃講 越前市 廣瀬嘉夫
- 20 お照らしのあまねし小さき柿の実に 能美郡 藤原千佳子
- 21 かぎりない命近づくとただ念仏 鯖江市 村田富美子
- 22 鐘の音ふと手を合わす押田山 越前市 田中久留美
- 23 元旦や浄土の旅の一里塚 四日市市 渡邊悌爾
- 24 聞いてない見てない我に今気付く 越前市 玉村早苗
- 25 気がつけば揭示法語にあたたまり 鯖江市 齊藤多恵子
- 26 喜寿迎えいつまで生きる我が命 鯖江市 黒田和代
- 27 「来てくれや」それは遺言私のため 越前市 藤下明順

- 28 経に舞ふ本堂欄間の七天女 函館市 梶原佑偉
- 29 愚痴さんの後から顔出す「おかげさま」 四日市市 伊藤栄一
- 30 苦のお陰悩んでこそ浄土ゆき 越前市 千秋マツ子
- 31 結局はわたしが私が先に立つ 福井市 下川明秀
- 32 還相の娑婆といたただき南無阿弥陀 函館市 梶原佑偉
- 33 光明に心照らされやわらかく 越前市 廣瀬照子
- 34 コスモスは五濁の世にこそ清く映え 鯖江市 山田清人
- 35 ご門徒の声さまさまに正信偈 福井市 下川明秀
- 36 雑念にまみれてもただ南無阿弥陀 福井市 下川明秀
- 37 四季の暮れ御苑に響く寺の鐘 東京都 藤枝純教
- 38 娑婆の旅二益（やく）を戴く浄土へと 越前市 玉村明
- 39 しようしんげじょうずにあげたとほめられた 王子日校 中山道心
- 40 浄土から親のよび声永代経 越前市 玉村嘉男
- 41 知らぬまにこの世に生まれ法りを聞く 越前市 玉村嘉男
- 42 人生は弥陀の光にただ念仏 越前市 坂崎吉三郎
- 43 すばらしき四季折々に手を合わせ 越前市 土橋春子
- 44 住みなれたこの娑婆おいてお浄土で 越前市 玉村千代子
- 45 世間虚仮知つてるつもりが流される 越前市 千秋マツ子
- 46 そのままと弥陀の呼ぶ声南無阿弥陀 越前市 廣瀬嘉夫
- 47 助けられ情けがみちづれ人の道 越前市 宇野勝己
- 48 陽りしお沈香のかほり冬座敷 越前市 土本小夜子
- 49 端正に黙望の夜の弥陀と坐す 函館市 高松周環
- 50 父母よ仏縁いただきありがたう 福井市 中浜好美
- 51 中仏の七年の想い答辞のぶ 町田市 北嶋公代
- 52 寺栄え法友ふえてにぎやかに 鯖江市 黒田和代
- 53 手を合わせ温かいのは南無阿弥陀 鯖江市 齊藤多恵子
- 54 天災でわかる「普通」のありがたさ 越前市 田中明浩

- 55 天命におまかせ安らぎお念仏 鯖江市 齊藤多恵子
- 56 ながらえて佛のおまねきお念佛 越前市 土橋春子
- 57 亡き祖母の念佛の声本願寺 越前市 上山豊子
- 58 亡き母の遺品整理に手が止まる 福井市 細川元巳
- 59 何一つ無駄ない人生南無阿弥陀 坂井市 佐々木哲子
- 60 なむあみだいつでもどこでも二人づれ 越前市 玉村早苗
- 61 日曜日ねんぶつきこえる了慶寺 王子日校 若林結子
- 62 年賀書き来年わからぬ九十七 坂井市 佐々木哲子
- 63 念仏の声堂に満つ初お講 能美郡 藤原千佳子
- 64 念仏やどこでもいつでも声にして 越前市 坂崎吉三郎
- 65 念仏を称えて始まるこの一日（ひとひ） 越前市 宇野はな江
- 66 法の道老いて聞くより若い内 越前市 玉村明
- 67 法の道無常の風も穏やかに 越前市 廣瀬照子
- 68 話合い幸がそこに生まれくる 越前市 上山豊子
- 69 母の顔経読むたびに思い出す 越前市 山崎雄一郎
- 70 人に為つくりや善行「偽」になる 四日市市 渡邊悌爾
- 71 人の世は苦勞なやみは星の数 越前市 宇野勝己
- 72 吹き荒れる苦惱も弥陀に静められ 福井市 M・K
- 73 不思議かな一文不知に正覚と 越前市 玉村明
- 74 仏前で一年の幸せ手を合わす 越前市 上山豊子
- 75 冬の寺冷気にこもる仏の智慧 アメリカ 藤枝エリ
- 76 冬の夜に精舎（しょうじや）輝き人集う アメリカ Stuart Arkey
- 77 伏す妻の幼児化み親の御手の中 福井市 鈴木弘之
- 78 平成の鐘打ち終えて「開く世」へ 東京都 藤枝純教
- 79 経る年は幾多の災害人あわれ 越前市 青山祐子
- 80 法縁の旅の道連れ曼珠沙華 四日市市 渡邊悌爾
- 81 報恩講慈悲をいただきお参りに 越前市 永田ハツエ
- 82 報恩講ぜんざいおとぎに祖師しのぶ 鯖江市 村田富美子
- 83 ほおやけどなんなんだぶつさまやのお 越前市 熊野幸治

- 84 法友に会えて喜び永代経 越前市 万所喜代元
- 85 仏の子広い視野で平等に 王子日校 泰平澄瑛士
- 86 報恩講ほんこさん参りはじめて齋（とき）につく鯖江市 黒田和代
- 87 本堂の豊新たに香をたく 福井市 下川達江
- 88 マイカーで牛がモーモーかわいいな 王子日校 中山みこ
- 89 毎月の法語の便り慈悲の念 越前市 青山祐子
- 90 曼珠沙華天空に咲け父母へ 中能登町 吉野松子
- 91 万葉の御魂を鎮める除夜の鐘 東京都 藤枝純教
- 92 弥陀佛に抱かれ生きるこの世界 坂井市 杉田時江
- 93 み法聞き尽きぬ悩みの味を知る 鯖江市 里見淳英
- 94 みほとけにご縁結ばれありがたし 越前市 玉村千代子
- 95 み仏の身近におわし日々温し 越前市 高中遊子
- 96 昔から残っているよ了慶寺 王子日校 成實洗喜
- 97 もったいないあゝもったいないもったいない 越前市 熊野幸治
- 98 聞法に出遇えるよろこび了慶寺 越前市 土橋春子
- 99 八十路半浄土をねがへの祖語うれし 越前市 藤枝宏壽
- 100 病得て心の支え阿弥陀さま 鯖江市 田中敬二
- 101 病みてなお聖人訪ねし覚信房 越前市 藤枝正子
- 102 故（ゆゑ）越えし女性住職の五条袈裟 函館市 梶原佑偉
- 103 雪 台風 学びに感謝たすけあい 越前市 田中久留美
- 104 許されて日々を無難の方便（たつき）かな 越前市 高中遊子
- 105 夜ふかし生きる喜び佛のこえ 越前市 坂崎吉三郎
- 106 霊峰を拜める宿やバスの旅 越前市 宇野はな江
- 107 老僧の寺にて果てぬ芋の露 函館市 高松周環
- 108 わかつてもなかなかでぬはお念仏 越前市 千秋マツ子

◇今年も国内外・県内外各地から百数十の投句を頂きありがとうございます。◇どの句にも現実の人生の悲喜の中における仏法の味わいが尊く感じられます。◇来年もまた奮ってご投句ください。投句数は自由。十二月十日締切厳守です。